

JMoF実行委員会 活動報告書

2021年7月～2022年6月

1. 活動の成果

2021年においても新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が蔓延している社会情勢は継続していたものの、JMoF 2022は、政府のガイドラインに沿った独自の感染防止対策に関する規約・方針を制定し、会期を4日から2日に短縮しつつ、参加定員を事前参加登録の700人として開催した。飲食や大きな発声を含む企画を中止した一方で、遠隔でも会場の雰囲気味わえるVR JMoFを2022でも開催し、会場参加者は556人となった。上述の十分な感染防止対策により、JMoF 2022はCOVID-19の感染事例なく、盛況のうちに無事終了した。

新しい参加形態「SHOGUN」での参加やJMoF実行委員会活動への寄付による支援に加え、予算管理の精緻化による支出の圧縮により、収入が支出を上回った。

豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)への寄付額は過去最高の1,928,716円を記録した。

2. 財産および損益の状況

(1) 貸借対照表

貸借対照表			
流動資産	3,055,058	流動負債	314,400
		純資産	2,740,658
資産合計	3,055,058	負債・純資産合計	3,055,058

(2) 損益計算書

損益計算書	
売上高	10,818,700
売上原価・販管費及び一般管理費	9,428,322
	営業利益金額
	1,390,378
営業外収益	100,053
	経常利益金額
	1,490,431
特別利益	217,700
	税引前当期純利益金額
	1,708,131
	法人税、住民税及び事業税
	70,000
	当期純利益金額
	1,638,131

3. 今後の方針

COVID-19を取り巻く情勢について、弱毒性のオミクロン株の拡大、ワクチン接種の進行に伴って重症患者数が限定的となったことから、対面形式のイベントの開催についても徐々に規制が緩和されており、今のところJMoF 2023も開催可能な見通しである。また、JMoF 2023は4日間開催を予定しており、開催にかかる費用がJMoF 2022よりも高額となることが予想されるため、収入と支出の双方の見直しを継続し、営利を主目的としない範囲において、安定した運営を長期に維持する。ここ数年は将来的なイベント開催が懸念される事態であったが、COVID-19感染下におけるイベント開催ルールが社会に浸透してきたこともあり、ウィズコロナでのファーリーコンベンションのあり方を検討し、ケモノ文化の発展に貢献していきたい。

以上